



途中という福島を見つめて

福島県立郡山萌世高等学校
石川 明日香



1.はじめに

〈私が福島に関わって行っている活動〉

- ◇ 令和4年度ふくしまナラティブスコラ
(現在も活動中)
 - : 富岡町語り部バスツアー
 - : 東日本大震災原子力災害伝承館見学

- ◇ 福島第一原子力発電所視察

- ◇ 飯舘村長泥地区環境再生事業見学

2.人が想像し、語る福シまは

前向きな未来像

- ex・複合災害から復興したふくしま
- ・風評被害を払拭したフクシマ
 - ・全区域避難指示解除され
元のように賑わう福島

...etc

後ろ向きな過去像

- ex・避難区域があるふくしま
- ・出荷制限のあるフクシマ
 - ・健康被害を不安視される福島

...etc

が多いかもしれませんが



今 に目を向けてはどうだろうか？
現地の『顔』は見えていますか？



3.私が思う『今』のふくしま

途中感

〔 ex.土地利用、廃炉作業、
インフラ整備、コミュニティの形成...etc 〕

福島を訪れる人にも
見つけて、感じて、受け止めてみてほしい

4.そのために

直接来て発見する

ふくしまの今の顔(人, 生活, 景色...)



+ 現地の方と話す

* 様々な念いに触れ、
受け止める

地元を見つめる



目いっぱい

共通点は？相違点は？

楽しむ

未来は？

『原発、放射線、風評だとか、そんな小難しいことは置いておいて、はじめはどんなに些細な興味で良い。』

富岡町語り部バスツアー ～青木淑子さん～

『直接この地に足を運んできてくれてありがとうございます。』

飯舘村長泥地区見学 ～嶋原良友さん～

現地の『今(途中)』を見てもらって喜ぶ人がいる

このことに、「見てみたい」という興味のみで
現地に行って良いのか？と迷っていた私が救われた

途中 = 先(未来)がある。

※絶えず変化する

これは私にも言える

途中というのはふくしまに限らず、どの地域にもいえること
だと思う。私は主に浜通りを通して
『途中モノ』どうしお互いの未来を追いかけていきたい。
い。